

歴史と伝統と自然が残る三木市を散策する！

三木合戦ゆかりの地を歩く・南回りコース

コース 神鉄志染駅～小林八幡神社付城跡～歴史の森公園～シクノ谷
峯構付城跡～三木ホースランドパーク～高木大山付城跡～高
木大塚城跡～三木鉄道記念公園～神鉄三木駅(約9km・一般向)

歩行時間 約2時間20分

今回の遊歩倶楽部は三木合戦ゆかりの地を訪ねて三木の街を歩いてみました。

三木合戦は天下統一を目指す織田信長が中国地方の戦国大名毛利氏との戦いに向け、羽柴秀吉を播磨に派遣。三木城の別所氏をはじめ播磨の武将の多くは毛利方となり、秀吉軍との戦いが播磨各地で繰り広げられました。

三木城主・別所長治は籠城し、秀吉によって兵糧攻めにされ、天正8年(1580)1月17日、兵士たちの助命と引き換えに自害しました。この合戦は別名「三木の干し殺し」と呼ばれています。三木城への兵糧搬入と援軍を阻止するため、平井山の本陣をはじめ30余りの付城を築いたとされています。コースはその中のいくつかの付城跡を訪ねました。(付城とは:秀吉が三木城を攻めるために周辺を取り囲んだ岩)

神鉄志染駅南改札口を出て、県道22号線を西へ。小林東の信号を左へ。三木東高校を左手にみえます。小林南の信号手前の脇道に行く



とすぐ右手に小林八幡神社①があります。ここは秀吉の三木城攻めの付城の一つで、土塁などが残っています。参拝の後、もとの道に戻り道路を横断して直進します。しばらく行くと左手に小林ワンパク広場。右手に三木市クリーンセンター。クリーンセンター管理棟を右に折れ、グリーンパークのグラウンドを巻くように歩きます。下り切ると車道



と合流。横断して歩道を左へ。右手に歴史の森公園があり、ここに明石道峯構付城跡があります。東側の小高い雑木林が付城跡です。次は三木ホースランドパークを目指します。国道175号線福井ランプの高架下の信号を渡り西へ。三叉路を右に折れ、約5分ほど行くと道路の向こう側にシクノ谷峯構付城の入口の案内板があります。(横断注意!)もとの道に戻り、次の三叉路を左へ。坂道を上り切ると三木ホースランドパークの入口。直進して馬事センター②へ向います。

三木ホースランドパークはJRAと三木市が合同

で国有林を開拓して1994年に開園した馬術競技に関する施設です。宿泊施設やキャンプ場などもあり敷地内には道の駅みきも併設されています。しばらく休憩の後、ゴールの神鉄三木駅を目指します。

公園入口まで戻り左へ。すぐ右手に高木大山付城跡の案内板があり、緑の広場横の道を直進すると車道に合流。ここを左へ。緩やかな上り道を行くと朝日ヶ丘団地。右手の脇道に高木大塚城跡の案内板があり、林の中に湾曲に曲がりくねりながら



住宅地側に延びる土塁が高木大塚城跡③です。もとの道に戻り進みます。国

道175号線を眼下に見て下って行くと朝日ヶ丘団地入口の信号。右に折れ、福井3丁目の信号を左へ。すぐ三木鉄道記念公園④に着きました。

三木鉄道記念公園は2008年4月に廃止となった三木鉄道の三木駅跡

が生まれ変わり、旧車庫を利用した「MIKI夢ステーション」やギャラリースペース、地域交流室などがあります。公園西の信号を渡り県道360号線を直進。末広橋手前の信号を右へ折れ、静かな商店街を歩き、車道と合流すると左へ美嚢川に架かる福有橋を渡るとゴールの神鉄三木駅です。



④